

製品名: PKR1 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab16229

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:100-1:500,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	PROKR1
別名	PROKR1; GPR73; PKR1; Prokineticin receptor 1; PK-R1; G-protein coupled receptor 73; G-protein coupled receptor ZAQ; GPR73a
遺伝子 ID	10887.0
SwissProt ID	Q8TCW9
免疫原	抗血清はヒト PKR1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 19-68

背景

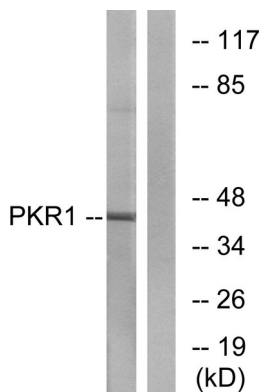
プロキネティシン受容体 1 (PROKR1) Homo sapiens この遺伝子は、G タンパク質共役受容体ファミリーのメンバーをコードしている

す。コードされているタンパク質はプロキネティシン (1 および 2) に結合し、MAPK および STAT シグナル伝達経路の活性化を引き起こします。プロキネティシンは、血管新生と炎症に関与するタンパク質リガンドです。コードされているタンパク質は、循環器系、肺、生殖系、内分泌系、消化器系などの末梢組織で発現しています。このタンパク質は、原始卵胞形成の開始時にヒト胎児卵巣でのシグナル伝達に関与している可能性があります。この遺伝子の配列バリエーションは、反復流産に関連している可能性があります。[RefSeq 提供、2016 年 8 月]、機能: プロキネティシン 1 の受容体。ヘテロ多様 G タンパク質の G(q) サブクラスにのみ結合します。活性化により、カルシウムの動員、ホスホイノシチド代謝の刺激、p44/p42 ミトゲン活性化プロテインキナーゼの活性化が引き起こされます。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。組織特異性: 胃、小腸全体、結腸、直腸、甲状腺、下垂体、唾液腺、副腎、精巣、卵巣、脳、脾臓、前立腺、膵臓で発現します。、

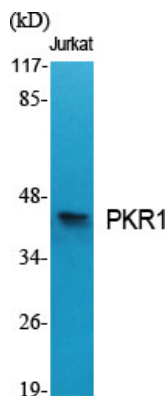
研究分野

タンパク質リン酸化、Ser/Thr キナーゼ、PKA、シグナル伝達、セカンドメッセンジャー、ヌクレオチドメッセンジャー、cAMP、がん、がん代謝、代謝シグナル伝達経路、エネルギー代謝の統合、代謝、経路とプロセス、代謝シグナル伝達経路、エネルギー伝達経路、エネルギーの統合

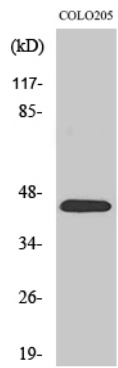
画像データ



PKR1 抗体を用いた COLO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



PKR1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



PKR1 ポリクローナル抗体を用いた COLO205 細胞のウェスタンブロット解析